

(11) 討論主題---『前処理とフローアナリシス』

オーガナイザ：手嶋紀雄（愛知工大）・村上博哉（愛知工大）

分析の操作を「サンプリング」「前処理」「測定」「データ処理」に大別すれば、時間にして半分以上が「前処理」に割かれるといわれる。このことは、エラーを生じる確率も前処理の操作において高まることを意味する。FIA をはじめとするフローアナリシスは、前処理操作の時間を短くし、エラーを最小限に抑える有力な分析手法である。

本主題では試料の前処理にフォーカスした分析手法、また FIA, LC, GC, IC, CE に関する分析法を広く募集する。

【依頼講演】

- 1) 現場分析を志向する FIA における前処理デバイスの最適化（㈱小川商会）樋口慶郎
- 2) HBr 発生装置を用いたポストカラム誘導体化法による微量臭素酸イオンの定量（中部大）井上嘉則
- 3) イオンクロマトグラフ-ポストカラム濃縮法による尿中オロト酸の定量（徳島大）竹内政樹
- 4) 高感度 DNA 付加体分析のための前処理手法の確立（愛知工大）村上博哉
- 5) **Cost effective downscaling sample pretreatment and flow analysis (Chiang Mai University, Thailand) Kate Grudpan**
- 6) **Sequential injection analysis as an efficient sample pretreatment system for voltammetric determination of some heavy metals (Chiang Mai University, Thailand) Jaroon Jakmune**

※演題は仮題を含みます。